

道路占用工事に伴う舗装復旧範囲基準

令和 8 年 4 月 1 日施行

1 目的

相生市道（法定外道路等含む）での掘削等を伴う工事を施工した際の舗装復旧範囲について、以下のとおり定めるものである。

2 舗装復旧範囲

(1) 舗装の復旧幅については影響範囲が道路中央を超過していれば全幅、超過していなければ半幅とする。別表【1 及び 2】のとおりとする。

(2) その他道路（法定外道路等含む）

ア 道路幅が 4m 未満（水路を除く）の場合

全幅を舗装復旧範囲とする。

※舗装の切れ目・近接舗装部分まで 1.0m 未満の場合は、復旧範囲に含める。

イ 交差点部

別表【3】の舗装範囲とする。

※主要道路の影響範囲による。

(3) 歩道

復旧範囲については全幅とする。

※舗装の切れ目・近接舗装部分まで 1.0m 未満の場合は、復旧範囲に含める。

※タイル舗装等の特殊な舗装の場合は、別途協議を行うこととする。

3 舗装構成

別表【4】による。

4 その他

電気通信事業者については別表【5】を標準とし、舗装復旧範囲を決定する。

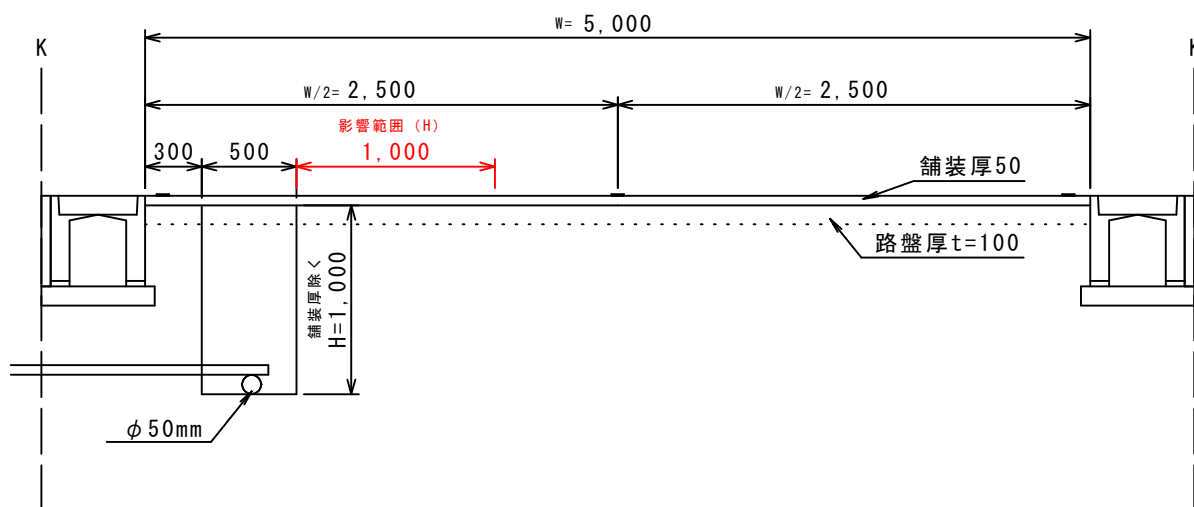
※上記基準によらない場合は、道路管理者との協議により決定する。

※原則、復旧範囲の立会確認を行うものとする。

【別表1】

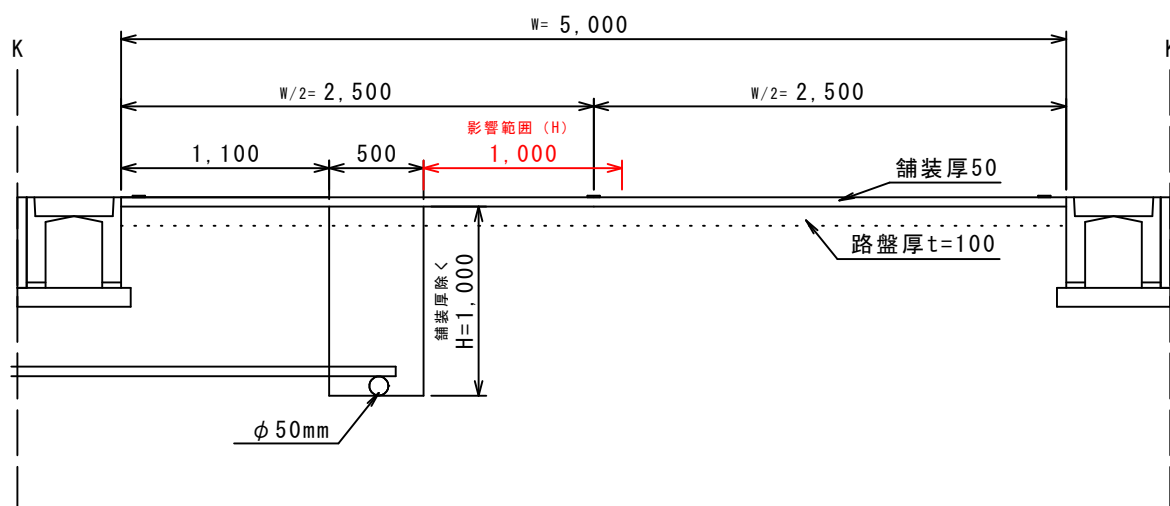
横断方向の考え方（外側線有）

半幅復旧の例



（注）今回の場合、影響範囲2.5mより小さいため、半幅復旧となる。
 * $2.5\text{m} > 1.0 + 0.5 + 0.3 = 1.8\text{m}$

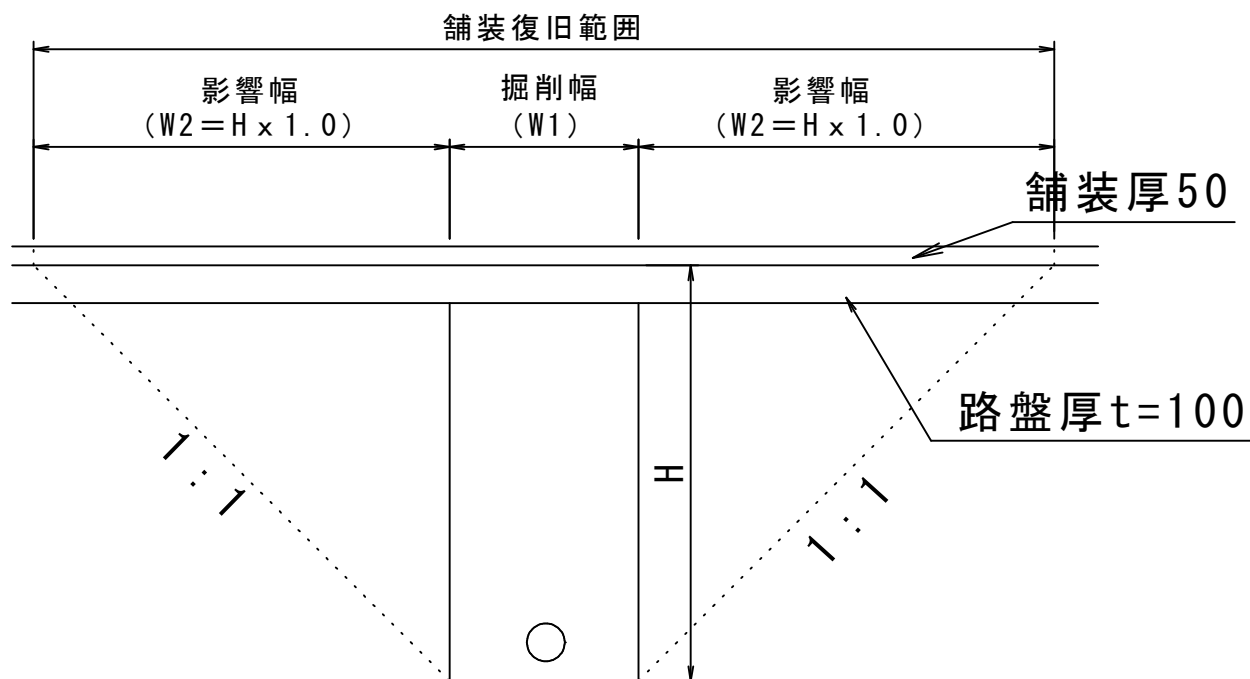
全幅復旧の例



（注）今回の場合、影響範囲2.5mを超えるため、全幅復旧となる。
 * $2.5\text{m} < 1.0 + 0.5 + 1.1 = 2.6\text{m}$

【別表2】

縦断方向の考え方

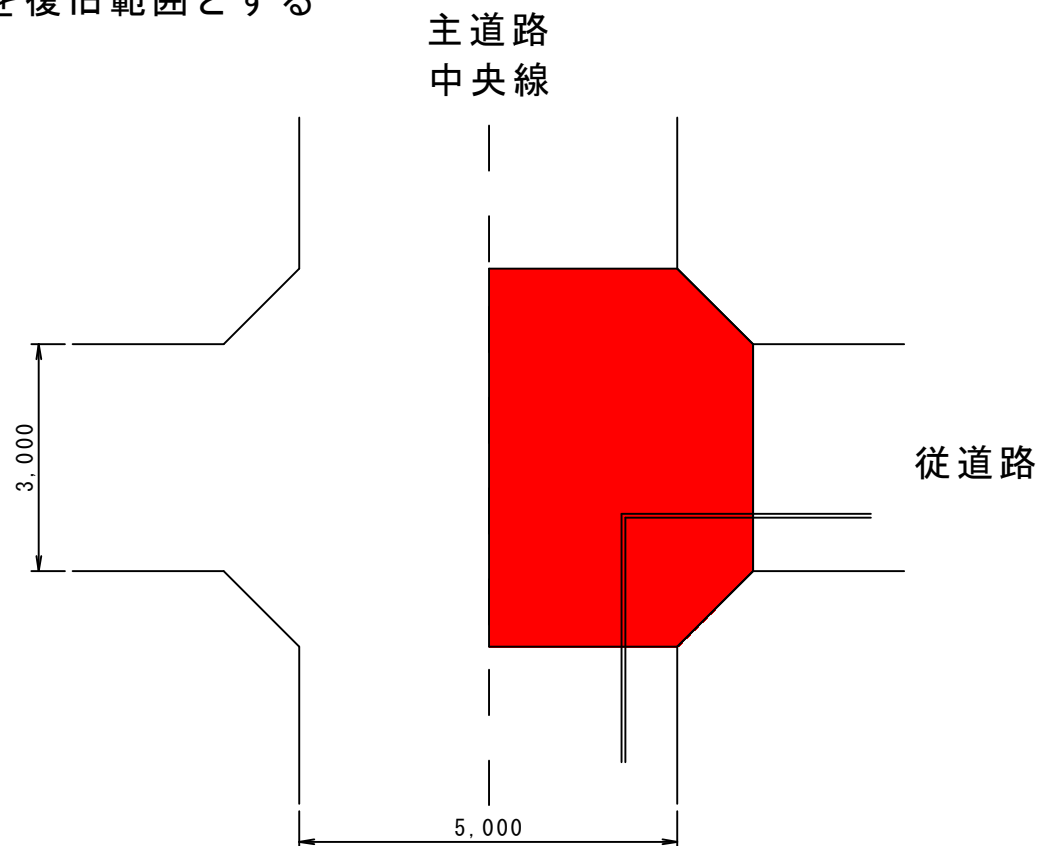


舗装復旧幅の基準は、掘削幅+影響幅とする。
※舗装の切れ目・近接舗装部分まで1.0m未満の場合は、復旧範囲に含める。

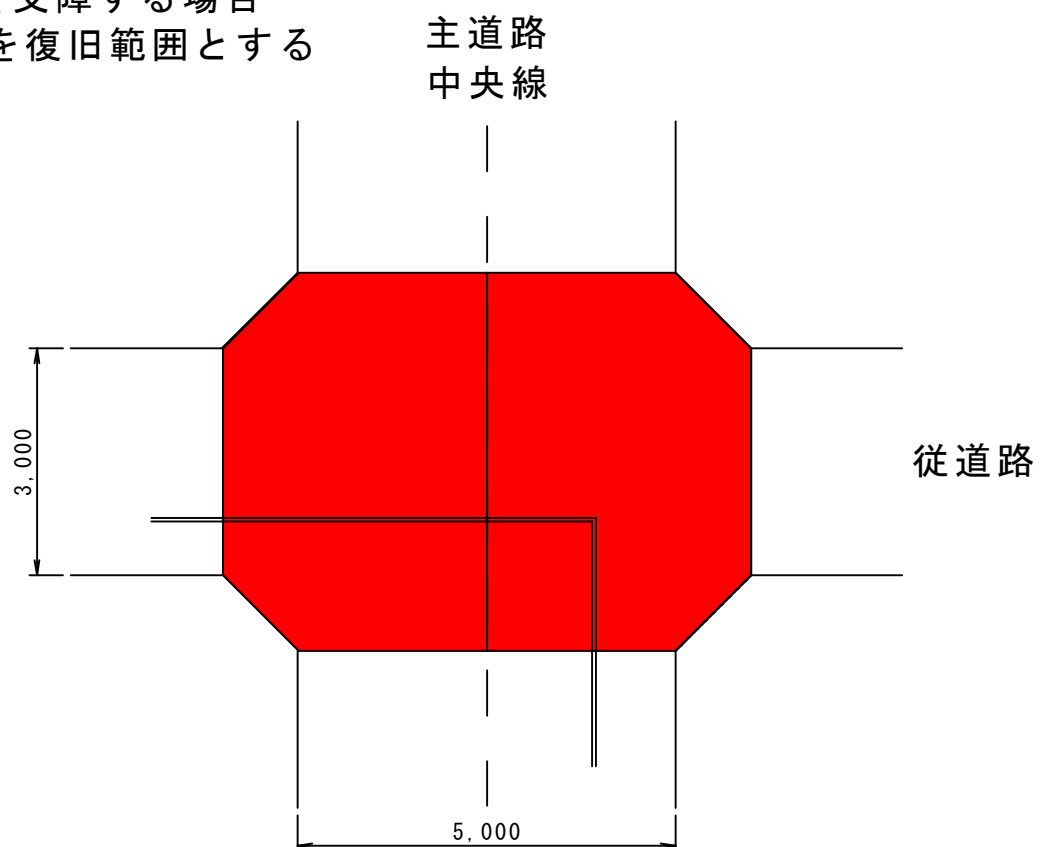
【別表3】

交差点部の考え方

主道路の半幅部を支障する場合
交差点半幅部を復旧範囲とする



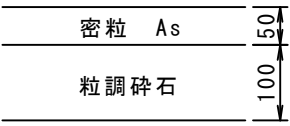
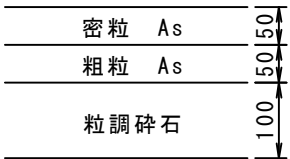
主道路の全幅部を支障する場合
交差点全幅部を復旧範囲とする



【別表4】

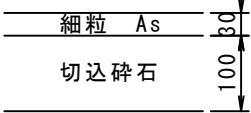
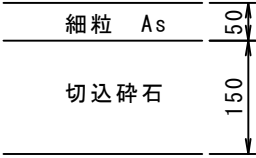
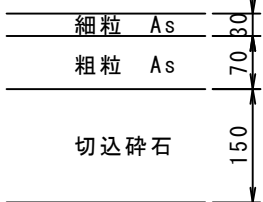
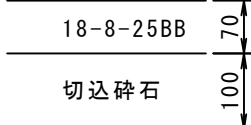
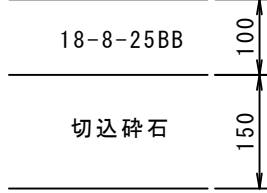
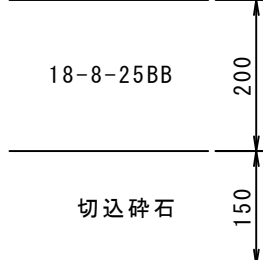
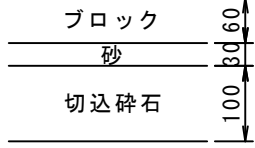
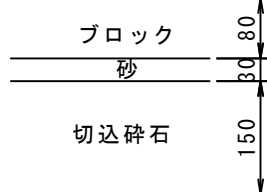
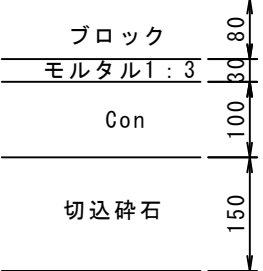
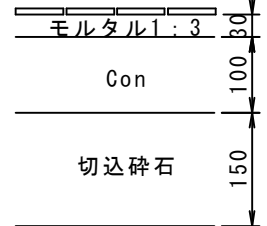
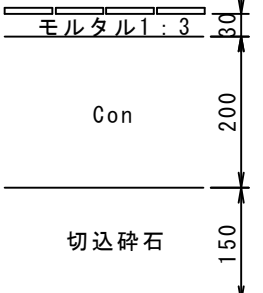
車道部の舗装構成（透水性舗装以外）

単位：mm

	一層	二層
As舗装		

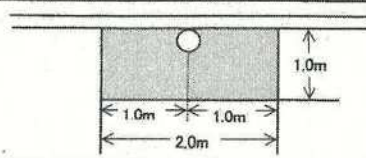
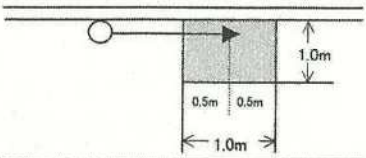
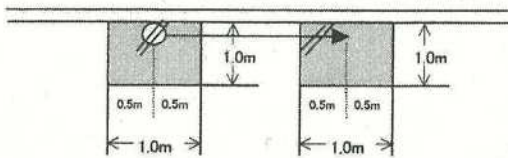
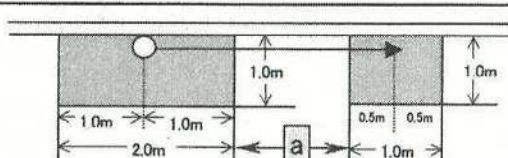
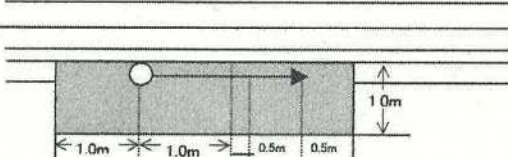
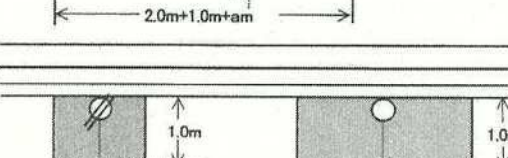
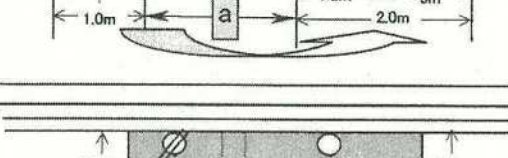
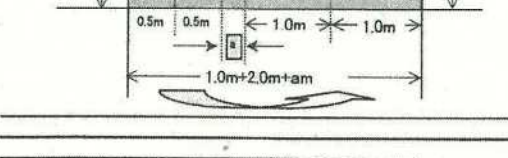
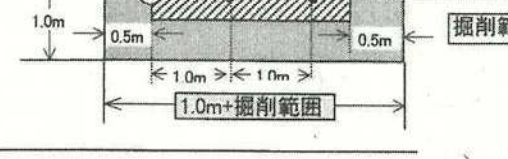
歩道等の舗装構成（透水性舗装以外）

単位：mm

	一般部	4t以下乗入部	4t以上乗入部
As舗装			
Con舗装			
インターロッキング 平板ブロック			
レンガ タイル			

【別表5】

道路舗装復旧工事適用図例

工 種	復 旧 面 積	適 用
本柱新設		幅1.0m長さ2.0mを標準とする。
支線新設		幅1.0m長さ1.0mを標準とする。
本柱・支線撤去		幅1.0m長さ1.0mを標準とする。
本柱・支線新設 ($a > 1.0m$)		復旧箇所が2箇所以上で a が1.0m超過の場合は、本柱・支線別に復旧する。
本柱・支線新設 ($a < 1.0m$)		復旧箇所が2箇所以上で a が1.0m以下の場合は、一括復旧とし、本柱取付に計上する。 (支線根開き2.5m以下は一括復旧とする)
本柱移設 ($a > 1.0m$)		復旧箇所が2箇所以上で a が1.0m超過の場合は、取付・撤去別に復旧する。
本柱移設 ($a < 1.0m$)		復旧箇所が2箇所以上で a が1.0m以下の場合は、一括復旧とし、本柱取付に計上する。 (移設距離が2.5m以下の時は一括復旧とする)
接地工事 (改修工事)		規定値になり次第終了する。 官地の時、申請より少ない接地極で規定値になった場合は、完成届平面図に、施工した極数及び復旧範囲を朱書きで明記し届ける。
側溝迂回工事		側溝迂回工事+現場打コンクリート*4+側溝蓋orグレーティング*1を標準とする。

※舗装の切れ目・近接舗装部分まで1.0m未満の場合は、復旧範囲に含める。